SINCOL

カーテンのお取扱いについて

この度は弊社カーテンをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
商品をより美しく、長くご愛用いただけますよう、お取り扱い上の注意点をご紹介いたします。
お読みになった後も保管してご覧ください。

※「スタイルカーテン　シェードタイプ」をご購入された方は**『ローマンシェード取扱説明書』**もあわせてご覧下さい。

カーテンをきれいに保つことで、生地の寿命をのばすだけでなく、お部屋の空気を清潔に保つことができます。
カーテンの特性を理解し、日ごろから丁寧なお手入れをこころがけましょう。

カーテンの特性について

■カーテン生地は室温、湿度、生地の重みにより伸縮する場合があります。
特にレーヨン、綿、麻、絹などの天然素材は寸法変化の大きい繊維ですのでご注意ください。

■特に天然素材(綿・麻など)は独特のにおいがすることがあります。
人体への影響はありません。においは時間と共に徐々に薄れます。気になる場合は換気をお願いします。

■縫い目からの光漏れが気になる場合があります。
特に遮光生地やひだをあまり取らない縫製の場合に目立つことがあります。

■ヒダが出にくい商品があります。
カーテンを吊った状態でヒダごとに綺麗にたたみ、タッセルで留め、10日程度癖付けしてください。

■シワが目立つ場合があります。
特にベルベット(起毛)、綿、麻、絹、レーヨン、また、薄手のボイルカーテンなどはシワが目立つことがあります。
洗濯ラベルの表示に従い、アイロンをかけるか、またはスチームアイロンを使用することも効果的です。

普段のお手入れ

■ホコリはやさしく取り除きましょう。
生地を痛めないよう、掃除機の弱で生地表面のホコリを吸い取るようにしてください。カーテンレールのホコリも掃除しましょう。

■シミ・汚れはすぐに取り除きましょう。
長時間放置すると落ちにくくなり、生地を傷める原因になります。小さなシミ・汚れは市販の洋服用シミ取りスプレーで除去できる場合がありますが、広範囲の汚れはクリーニングしてください。

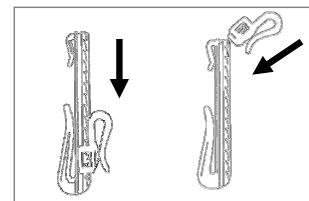
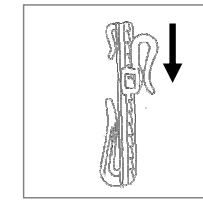
■漂白剤、芳香剤、香水などをカーテンに吹きかけないようにしましょう。
変色・色落ちの恐れがあります。その他カビ取り剤、トイレ用洗剤、消毒剤なども絶対に使用しないでください。

■結露はしないよう換気と除湿に心がけましょう。
結露水がカーテンに触れるとカビやシミの原因になります。裏にラミネート・コーティング加工を施した商品は水分により劣化（変色・ひび割れ・はがれ）が早まるため、特に注意が必要です。シャワーカーテンはご使用後、水で汚れを洗い流しておきましょう。

カーテンフックの調整方法

■アジャスターフック

丈の調整方法

長くしたいときは
一旦下げて取り外し上からさしこみます。

短くしたいときは
フック部分を押し下げます。

■ギャザーフック
高さの微調整はできません。フック間隔が約10cmのため、通常カーテンより多くレールランナーが必要です。レール両端のストップに、カーテンの一番端のフックを掛け、両端から中央の順で均等につけます。巾が大きく、だぶついて見える場合は両端のフックを１つ内側のループにつけかえて調整します。

シンコール株式会社
お客様相談室 0120-788-737

商品に関する様々な情報を掲載しています。
ホームページ
http://www.sincol-kys.co.jp

シンコール　北陸　検索

カーテンのクリーニングは生地の寿命を延ばすだけでなく、お部屋の空気を清潔に保つ役目をはたしてくれます。
厚手の生地は１年に１回、レースなど薄手の生地は半年に１回程度クリーニングすることをおすすめします。

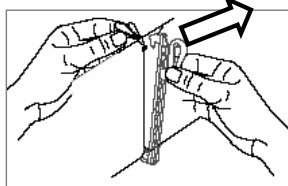
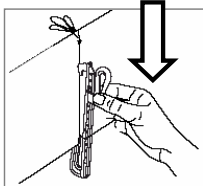
部品の取り付け・取り外し方法

お洗濯の前には部品を外します。部品はなくさないように保管しましょう。

■カーテンのアジャスターフック

図は当社特別仕様ブレ止め付きフックの取り外し方法です。
鋼線フックや一般樹脂フックは上部の突起がなく簡単に抜き差しできます。

取り外し方法

①上部の突起を外します。

②下方へ引き抜きます。

取り付け方法

取り外しの際とは逆の順序につけます。
①フックを下から差し込みます。
②上部の突起にひっかけます。

■スタイルカーテン(昇降タイプ)部品

安全のためメカはブラケットから外して作業を行いましょう。

取り外し方法

①幕体を一番下までおろし昇降コードを外します。

コードの根元にマジックで印をつけておくと取り付ける際に便利です。

②外せる部品は全て取り外します。
コードをはさみなどで切らないで下さい。元に戻せなくなります。

●コードアジャスター

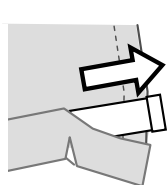
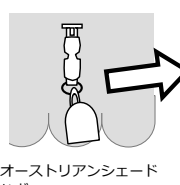
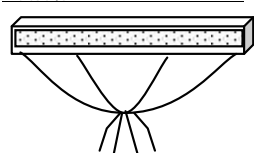
●シェイパー

シャープシェード
フォールシェードなど

●ウェイトバー

●釣鐘型ウェイト

オーストリアンシェードなど

③メカから生地を外します。
コードはメカから外さないで下さい。

④コードを束ねて結びます。
絡まり防止のため生地を外した状態で昇降操作をしないでください。

取り付け方法

取り外しの際とは逆の順序で取り付けます。
①生地をメカにつけます。
②取り外した部品をつけます。
③昇降コードをほどき、リングに通します。
④コードをコードアジャスターに巻きつけます。
⑤昇降コードが均等な長さで昇降するか確認します。

昇降コードは上から通します。通し忘れた場合にはリングの切込みから入れることができます。

お洗濯方法

■カーテンについている洗濯ラベルの絵表示を確認します。

絵表示に従い、洗濯・クリーニングを行いましょう。

液温は30℃を限度とし、弱い手洗いがよい。(洗濯機は使用できません。)洗剤は中性洗剤を使用してください。	水洗いはできません。	液温は40℃を限度とし、洗濯機の弱水流又は弱い手洗いがよい。
塩素系漂白剤による漂白はできません。	ドライクリーニングができます。溶剤は石油系のものを使用してください。	ドライクリーニングができません。
アイロンは120℃を限度とし、低い温度(80～120℃)で掛け、あて布をしてください。	アイロンは210℃を限度とし、高い温度(180℃～210℃)で掛けるのが良い。	アイロン掛けはできません。
手絞りの場合は弱く、遠心脱水の場合は、短時間で絞るのがよい。	日陰のつり干しにしてください。	

■繊維製品はクリーニングによりある程度の伸び縮みが起こります。

カタログに記載されている寸法変化率が目安ですが、使用環境により異なる場合もございます。特に天然素材のカーテンは寸法変化が大きいことをご承知おきください。

■お洗濯は定期的に行いましょう。

目安としてドレープは年に１回、レースなどの薄地は年に２回程度を目安にクリーニングしましょう。汚れが激しいまま長時間クリーニングをしないと、生地の劣化が進み、クリーニングの刺激で生地の破れ、ほつれなどが起きることがあります。また、汚れが落ちることで日焼けや色あせが目立つことがあります。

■ご家庭でお洗濯する場合

○洗濯ラベルに手洗いまたは洗濯機洗い表示がされている商品のみご家庭にてお洗濯が可能です。
○洗剤は中性洗剤を使用ください。漂白剤の使用は厳禁です。
○乾燥機は絶対に使用しないでください。
○手洗いの場合、水温30℃までで、やさしく押し洗いをします。もみ洗いは厳禁です。
　脱水は押し絞りをおすすめしますが、脱水機を使用する場合は１分程度軽くしてください。
○洗濯機洗いの場合.水量は最大、水温は40℃までで、なるべく洗濯ネットに入れて、詰め込まずに洗います。

■クリーニングに出す場合

事故を防ぐために、洗濯前には必ずカーテンの寸法、洗濯ラベルの表記をお店の方と一緒によく確認しましょう。
特に温度設定、乾燥機不可品で乾燥機を使用した場合など、クリーニング事故に繋がる危険があります。

■スタイルカーテンの注意点

○クリーニング業者に依頼を。
特殊な縫製仕様のため、お手入れ時にも特別注意が必要です。基本的にはクリーニング業者に依頼されることをおすすめします。

○シェードタイプについているリングにご注意ください。
リングが外せない仕様では、リングが破損しないように必ずネットに入れて洗濯してください。

○上飾り（バランス）はクリーニングができません。
ウレタン等の芯地が全面に入っている上飾り（バランス）は型崩れが起きるためクリーニングできません。

○房フレンジ、フリル・トリムつきカーテンの場合
基本的にドライクリーニング表示ですが、クリーニングにより房の形が崩れる恐れがあります。一般的な縫製仕様のカーテンよりもクリーニングの刺激による破れ、ほつれが起きやすいので取り扱いにはご注意ください。

2014.09/20000